

【講師紹介】

柳家花緑さん (LD・ADHD の当事者)



1971年 東京都生まれ。

9歳の頃より落語を始め、87年、中学を卒業後、祖父である故・五代目柳家小さんに入門。94年、戦後最年少の22歳で真打ち昇進。

40歳で発達障害であると分かるまで、読み書きが苦手な自分に自信を持てず、「努力が足りないせいだ」と思い悩んできた。

その事実を2017年に公表。以来、発達障害児の親や支援団体の集まりにも積極的に参加し、障害への理解を広げる活動にも熱心に取り組んでおられる。

2022年6月、雲南省の古代鉄歌謡館で、みかたーNETが主催する第一回「みかもった講座」として、「僕が手にいれた発達障害という止まり木」



というテーマの講演と落語の会を実施。

花緑さん自身も、「落語を聞きたいから来たけれども、落語の前に発達障害の話をつまみま聞かされた。それでもいいです。一人でも理解してくれる方が増えるなら。」と講演の中で言っておられた。

柳家 花飛さん (落語家) (ASD の当事者)



1985年 千葉県生まれ

2009(平成21)年12月 柳家花緑に入門

2014(平成26)年11月1日 二つ目昇進「柳家花飛」と改名

上記の花緑さんの著書「僕が手にいれた発達障害という止まり木」という著書の中で、「発達障害は、人によってここまで違う」という章で自身の発達障害について花緑さんと次のようなことを対談しておられる。

・師匠夫妻の気づきによって受診。診断を受け入れるまでに半年かかったこと。

・師匠に入門するまでに、大学を卒業してからの2年間で3つの職場(大工、倉庫での商品管理、引っ越し屋)を変わったこと。

・自分の得意なこと

・感覚過敏、苦手なことなどについて